

## 裾野市観光戦略(案)に対する意見募集結果について

(裾野市 産業観光スポーツ課)

市では、交流人口の拡大や観光産業の活性化に向け、裾野市観光戦略の策定を進めており、観光戦略(案)に対するパブリックコメントを実施したところ、複数のご意見をいただきました。

意見の概要と、それに対する市の考え方を公表します。なお、いただいた意見は、趣旨を損なわない範囲で要約しています。

### 1. 募集期間

令和6年8月29日(木曜日)～9月25日(水曜日)

### 2. 意見の提出方法と件数

提出方法	件数(件)	人数(人)
担当課または支所に直接提出	0	0
郵送	0	0
ファックス	0	0
メール	0	0
パブリックコメント提出フォーム	14	2
計	14	2

### 3. 意見の概要と市の考え方(別紙)

いただいた意見の趣旨を変更しない範囲で、表現等を修正しています。

### 4. 問合せ先

裾野市産業振興部産業観光スポーツ課

電話:055-995-1825 / ファックス:055-995-1864

メール:kankou@city.susono.shizuoka.jp

(別紙)意見の概要と市の考え方

No.	箇所	項目等	意見の概要	意見に関する市の考え方
1	P14	宿泊者数グラフ	近隣市町に比べて市内の宿泊施設が少ない中、日毎の宿泊者数を平準化するなど、宿泊数を増やす施策がありましたら教えてください。	市では、観光事業に加えスポーツツーリズム事業を推進しています。スポーツ合宿では、一定期間の宿泊を伴うため、平日の宿泊数を増やす効果があります。
2	P16	主な観光資源の分布(施設ごと)	施設、イベントにつつまして、観光交流客を増やす施策として、イベントやフィルムコミッションは有効だと考えられますが、市外、県外への周知方法に施策がありましたら教えてください。	情報発信は、重要な取り組みのため、基本方針4の施策4-2 発信力強化で5つの項目を記載しています。 ターゲットやニーズを捉え、必要な情報を届けるため最適な情報発信媒体を活用します。
3	P17	来訪者・属性・人流分析	データから、大都市圏から来訪しやすい距離に位置しているが、新東名を利用して大都市から移動される人を呼び込む施策として、新東名のパーキングエリア(含むスマート IC)設置の働きかけを行う計画はございますか。	市内への新東名スマート IC の設置について、検討します。
4	P22	課題の整理	周辺市町では、民間の施設への集客があり観光交流客増に繋がっていると思われるが、民間の観光施設の誘致計画はございますか。	観光戦略は、道の駅整備等の新たな観光交流拠点について記載しています。拠点整備や既存観光施設の磨き上げにより観光交流客数が増加することで、民間観光施設が参入したいと思える地域づくりを進めます。
5	P28	既存イベントの魅力発信	梅の里公園で以前開催していた「梅まつり」を復活してほしい。春を感じる風物詩でした。 また、市長戦略に「イチゴのブランド化」とありますので、イチゴまつりを開催してほしい。	梅まつりは、現時点で復活の計画はありません。今後の民間活力による観光の拠点化検討の中で検討される可能性があります。 裾野市の特産品のいちごは、生産者の高齢化や担い手不足により、生産者の減少が続いています。まずは生産者確保策に取り組みます。PR や販売の取組みとして、農業まつりやしずおか市町対抗駅伝などへ出店を行っています。
6	P28	ロケツーリズム	ロケツーリズムについて、観光交流客を増やす施策として、フィルムコミッションなどは有効だと考えられますが、裾野市内施設のアニメ・漫画などの聖地化等の事業は検討されていますか。	アニメ・漫画に限定せず、市で撮影する作品の支援をします。 既に撮影を行った場所はロケ地アプリに掲載しており、それらの活用やコンテンツの充実を図ります。
7	P29	新たなツーリズムの推進	昨秋の爆破体験に参加しました。マスコミでも「爆破ツーリズム」というワードで取り上げられていたので、「爆破ツーリズム」を得出しして、焦点をあててほしい。	体験型コンテンツとして検討します。
8	P30	産業観光ルートの造成	市の北部には製造工場が数多く立地しているので、工場見学のパンフレットを作って、アピールしてほしい。 都内で販売される土産物を裾野市で製造していることを知っている人は少ない。賞味期限の迫った土産物が格安で売られているように、都内で販売される土産物の直売所ができれば観光名所になること間違いなし。	工場見学の実施については、企業側の意思決定によるものであり、現在実施している企業も少ないことからパンフレットの制作は考えておりません。 ご提案の直売所の件は、企業判断によるものですが、観光分野において魅力的な取組みであるため、市としても情報収集を行いながら連携を図っていきたいと考えます。
9	P35	基本方針 6 観光客目線の環境整備	観光交流客の多い市町、大都市に裾野市を PR する観光ブース等の設置のご検討をされていますか。もしくは既にありますか。	市単独での常設観光ブース設置は困難ですが、広域連携やイベントでの観光ブース出展を行っていきます。
10	P37	富士山麓・十里木エリアの方向性:スノーツーリズム	外国人旅行者は天然のパウダースノーを求めて来日し、北海道に行きます。 外国人旅行者に情報発信しても、人工雪のスキー場に来てくれるのでしょうか？	本エリアには、エリアの特徴に掲載した大型観光施設や複数の観光資源が存在するため、主な施策にある取組みを外国人旅行者にも発信し、各種ツーリズムによる来訪者を呼び込んでいきます。

No.	箇所	項目等	意見の概要	意見に関する市の考え方
11	P38	(3)パノラマロード周辺エリア	(記述はありませんが)きれいな、快適なトイレ整備が必要です。	パノラマロード周辺には、常設トイレと仮設トイレを各 1 箇所設置しています。利用者が快適に利用できるよう維持管理に努めます。
12	P38	(4)愛鷹周辺エリア	富岡・西地区への言及がありません(またはゴルフ場のことですか?) 葛山の森林には都内の大学のオリエンテーリング部から毎年のように使用許可申請があるようです。 オリエンテーリングのメッカを目指してはどうか。	富岡・西地区については、3つのゴルフ場があり言及しています。オリエンテーリングについても、スポーツツーリズム事業の取組の1つとして考えています。
13	P41	観光施設周辺の土地利用	標高差がある利点を生かし、果実園などを既存観光施設周辺に誘致する計画はございますか。	現時点での誘致計画はありません。 標高差は当市の特徴の一つでもあるため、標高差を活かしたスポーツツーリズムを推進しています。
14	P49	基盤強化(1)環境整備 仙石原新田線の整備	大型バスが通るような道路ではないと思います。大雨で土砂崩れが起きそう。それよりも農免道路を延伸して御殿場方面に行けるようにしてほしい。	仙石原新田線は、裾野と箱根を結ぶ最短ルートであり、拡幅工事が完了すれば大型観光バスの通行が可能となるため、早期完成に向けた取組みを推進します。 市道 1-4 号線(通称:農免道路)は、仙石原新田線との交差点から御殿場市神山地先へ抜ける道路新設工事について、御殿場市と取り組んでいます。